

高齢者と障害者の自立のための

第44回国際福祉機器展 Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2017

会 期：2017（平成29）年9月27日（水）～29日（金）

会 場：東京ビッグサイト 東展示ホール（東京都江東区有明）

出展社数：528社・団体（日本448社・団体、海外80社）

開場時間：午前10時～午後5時30分 ※最終日29日は午後4時まで

入 場 料：無料（登録制：当日または事前）

主 催：全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会

【開催内容】

第44回目を迎える国際福祉機器展 H.C.R.2017 では、高齢者や障害者の自立と社会参加の促進、家庭や福祉施設での介護の質の向上を目的に、杖・車いす・福祉車両、入浴・トイレ、住宅改造機材などの福祉機器、高齢者むけ食品や衣類など日常生活を支えるさまざまな生活用品を総合展示します。

また、福祉・介護・リハビリなどに役立つ最新情報を以下のようなシンポジウムやセミナー、特別企画などの多彩なイベントをつうじて、福祉関係者、企業関係者、そして一般の方々に提供いたします。

①福祉機器約20,000点を総合展示 **WEBにて入場者登録の受付を開始しました！**

②国際シンポジウムを開催（9月28日） **WEBにて参加申込の受付を開始しました！**

③H.C.R.セミナーを開催（9月27～29日） **WEBにて参加申込の受付を開始しました！**

福祉職から一般、福祉利用者、家族までをそれぞれ対象として、保健・福祉・介護をテーマに連日開催。

④出展社によるプレゼンテーション

⑤H.C.R.特別企画

(1) アルテック講座2017 ～身の回りにあるテクノロジー（アルテック）で創る豊かで楽しい生活

(IT機器の福祉的活用講座)

携帯電話やスマートフォンなど身の回りにあるテクノロジーの福祉的な利用方法についての解説・実演。

(2) 障害児のための「子ども広場」：

子ども用機器の展示、機器・療育・住宅改造などの相談、保育士が常駐するひとやすみコーナーなど。

(3) 福祉機器開発最前線

現在開発中の製品や新発表の福祉機器、介護ロボットなどのデモンストレーション・集中展示。

(4) ふくしの相談コーナー

福祉機器や自助具などの相談コーナーを設置。

(5) 被災地応援コーナー

災害に見舞われ、復興に取り組みながら製造・生産活動に取り組むセルプ（障害者就労支援施設・事業所）の製品を販売。

その他にも、多彩なプログラムを実施予定。

I 国際シンポジウム

テーマ「高齢者の家族介護の現状とその支援について～ヤングケアラーやダブルケアなどの課題を考える」【プログラムNo.1】手話通訳あり

高齢化が進展する中、介護を必要とする高齢者も増え続けており、施設でも在宅でも適切な介護サービスが受けられない高齢者や老老介護、育児・子育てと介護の両方を担うダブルケア、介護離職、また家族介護の担い手となっているヤングケアラーの問題なども指摘されてきています。

そこで本シンポジウムでは、要介護高齢者等の家族介護と介護者支援の取り組みについて、先駆的な実践を展開しているイギリスから講師を招き、その現状と展望、また日本の現状についての議論を踏まえ、今後のあるべき取り組みを考察します。

【日英同時通訳付】

○開催日時：平成 29 年 9 月 28 日（木）13：00～16：00

○会 場：東京ビッグサイト会議棟 6F

○参加者：福祉に関する課題や政策・制度に関心のある方であれば、どなたでも参加いただけます。

○シンポジスト

イギリス／マデレーン・スター氏 ケアラーズ UK 事業開発・イノベーション担当ディレクター

日 本／堀越 栄子氏 日本女子大学家政学部教授、一般社団法人 日本ケアラー連盟代表理事

○チューター

塚田 典子 氏：日本大学商学部教授、一般財団法人保健福祉広報協会理事

○参加費：1,000 円(税込)

○参加申込方法：H.C.R.Web サイト (<https://www.hcr.or.jp>) からの事前申込となります。

○定員（280 名）になり次第締め切らせていただきます。

【講演要旨】

第一部 講演

(1) イギリスからのレポート（マデレーン・スター 氏／ケアラーズ UK 事業開発・イノベーション担当ディレクター）

イギリス人の寿命は伸びています。しかし、健康的に長生きする人よりも、何らかの介護やサポートを必要とする高齢者の数をはるかに多いとされています。

イギリスの国民保健サービスは、原則として受診時は無料ですが、成人ソーシャルケア、在宅ケアやレジデンシャルホーム、ナーシングホームでの入所介護、また地域コミュニティが提供する公的自立支援を受けるに

は、ミーンズテスト(資産調査)で、支援ニーズと支援資格(経済状況)の査定を受ける必要があります。

ソーシャルケアの財源は年々減額されるため、受給できるサービスは徐々に少なくなっています。そのため、高齢者は自分自身の財産と家族に頼るしかないのが現状です。また、支援のない介護者が、健康的、経済的、社会的に多大な負担を強いられていることを受け、政府は介護者支援のための新しい法律を制定しました。2014年介護法(The Care Act 2014)は、それまでの介護法に代わり、介護者に重要な新しい権利を付与しました。介護者支援法は、柔軟な働き方や介護者であることを理由にした差別・ハラスメントの禁止などで介護者の権利を保障しています。

しかし、この法律の潜在的な有効性は、ソーシャルケアの圧力と給付制度の改訂(削減)に押し切られてしまっています。介護対象者への柔軟な公的支援が不足しているために、勤務時間を減らしたり、離職したりせざるを得ない介護者が数多くいます。

新イギリス政府は、成人ソーシャルケアと介護者支援策を見直すことを発表しました。今後、介護問題の危機をどのように解決するかといった課題に対処していかなければなりません。

(2) 日本からのレポート(堀越栄子氏/日本女子大学家政学部家政経済学科 教授、一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事)

誰もが介護する・される時代となっており、老老介護、働き盛り介護、ヤングケアラー、シングルの娘・息子介護、男性介護、老障介護、ダブル・ケアなど、多様な介護・介護者が出現しています。

しかしながら、今日、介護者は、心身の健康、生活の安定、将来の見通しに不安を抱えており、社会的に孤立している人も多い。虐待、自殺、殺人・心中を引き起こすまで追い詰められている現状もあります。

一方、被介護者を支援する制度政策に比べ、介護者個人では解決できないさまざまな困難に対して、社会的な支援は不十分です。

そこで、本シンポジウムではまず、ヤングケアラー、働く介護者、育児と介護を担う介護者等、さまざまな介護者の実情を理解します。

次に、介護者の支援ニーズに着目し、職場や市民団体、国・自治体の介護者支援の取り組みを概観します。

最後に、介護する人・される人の両当事者がともに尊重され、介護者の社会参加(学業、仕事、交流、ライブイベント等)を保障する地域包括ケアシステムや、ともに生きる社会づくりについて考えます。

第二部 質疑応答

II H.C.R. セミナー

H.C.R.2017では、わが国の保健福祉・介護・医療分野におけるさまざまな課題についての関連最新情報の提供や、福祉・介護職の資質向上をはかるための「H.C.R.セミナー」を東京ビッグサイト・会議棟及び東展示ホール内で開催します。

今年は、地域で生活されている高齢者の住まいや介護に関わる情報、介護・福祉施設のサービスの質を高めるための知識や技術などを学んでいただく講座、企業関係者を対象としたセミナーなどにより構成し、特に、介護ロボットの円滑な導入や開発の最新動向に関するプログラムを用意しております。ぜひ、ご参加ください。

○開催日：2017(平成29)年9月27日(水)～29日(金)

○会場：① 以下の【プログラムNo2】～【プログラムNo6】は、東京ビッグサイト・会議棟6階「605-608会議室」
(※本会WEBから事前申込が必要です。また、セミナー共通資料(1部500円)を販売します。)

② 以下の【プログラムNo7】は、東京ビッグサイト・会議棟1階レセプションホールB
(自由参加、先着順)

③ 以下の【プログラムNo8】は、東京ビッグサイト・東6ホール内「特設会場C」(自由参加、先着順)

東京ビッグサイト・会議棟で開催するセミナー

9月27日(水)

10:30～12:00

【プログラムNo.2】一般家庭の介護で腰痛にならないための基本技術

～ボディメカニクスの理解と活用

手話通訳あり

要共通資料

介護する方々にとって、腰痛は大きな問題です。

リフトなどの機器の活用、住環境の改善、介護者の体力改善、適正な介護の仕方(技術)の習得など、腰痛にならないための対応策はいくつかあります。家庭で介護をおこなう一般の方々は、これらについての基礎を理解し、それぞれの要素をうまく組み合わせて腰痛を予防していく必要があります。

とくに、ボディメカニクスは、介護時の適正な姿勢や動作を確保して、介護する方とされる方の双方にとって介護を楽にし、安定させる技術です。

本講座では、具体的な実演もまじえながら、こうした技術をわかりやすく解説します。

○主な参加対象者：在宅で介護を行っている方、新任介護職員・ホームヘルパー

○講師：青柳 佳子 氏 浦和大学短期大学部 介護福祉科 特任教授

13:30～16:00

【プログラムNo.3】福祉施設の実践事例発表 ～ 役立つ活かせる工夫とアイデア

要共通資料

介護・障害者・児童福祉施設の現場では、スタッフが日々の利用者への援助・支援においてさまざまな創意・工夫を行うことによって、福祉サービスの改善、質的な向上がはかられています。こうした創意・工夫は、全国の福祉施設で活かせるアイデアとノウハウです。

本講座では、創意・工夫の情報を共有することで、福祉サービスの質の向上をはかることを目的として、福祉施設での実践事例、研究発表を紹介します。

○主な参加対象者：介護・福祉施設関係者など

○発表事例テーマ：

《A会場／高齢者福祉施設・事業所における工夫事例》

- ① ICT(Information and Communication Technology)を活用した業務改善とその効果
 - ② 四條畷荘いっぶくステーション『よろか』～商店街の空き店舗を活用した地域福祉の拠点作り～
 - ③ 全ての職員が働きやすい職場 働き続けられる職場を目指して
 - ④ All For One みんながひとりのために～多職種連携による外出支援計画に基づく支援～
 - ⑤ 認知症になっても安心して暮らせる地域を目指して～所沢市三ヶ島地区認知症 SOS ネットワーク模擬訓練報告
- ※司会進行：湯川 智美 氏 社会福祉法人 六親会 常務理事

《B会場／障害者施設・事業所における工夫事例》

- ① メンタルコミットロボット【PARO】の更なる可能性について～障害者支援施設での活用方法と利用者の変化～
- ② 特別支援学校の業務経験から活かすA型事業所の取り組み～就労・宿泊体験を通し、利用者(児)の自立支援について考える～
- ③ 障害者支援施設における介護ロボットスーツの活用実践

- ④ 特別支援学校通学児のための支援「モーニングサポート」について～法人資源を有効活用した地域貢献事業
⑤ 障害者施設における災害対応事例と防災体制の強化～台風災害による長期断水への対応例を中心に～
※司会進行：久木元 司 氏 社会福祉法人 常盤会 理事長

※A と B の 2 つの会場に分割して並行開催します。

※当日受付を会場前において同日（9月28日）の12：30より先着順にて行います。

9月28日（木）

10：30～12：00

【プログラムNo.4】福祉施設における感染症の知識と対応

～知っておきたい感染症対策のポイント **要共通資料**

近年、さまざまな感染症対策が注目されています。

福祉施設は利用者が集団で生活する場であり、感染症に対するきめ細かな配慮は欠かすことができません。施設を利用する高齢者や障害者、児童など場合、感染をすれば、症状が非常に重くなることもめずらしくありません。福祉施設の役職員は感染症に対する正しい知識をもち、その予防に努めるとともに、発症時における適切な対応が求められています。

本講座では、高齢者、障害者、児童福祉施設における日常生活に必要な感染症に関する基本的知識、予防と発症後の対応策、施設などの現場で留意しておきたいポイントや今年の感染症の動向について専門の講師から学んでいただきます。

○主な参加対象者：福祉施設関係職員者など

○講師：石原 美和氏 宮城大学 看護学群・大学院研究科 教授

9月29日（金）

11：00～12：30

【プログラムNo.5】高齢者・障害者に役立つ生活支援用品の紹介とその開発視点 **手話通訳あり** **要共通資料**

2009年から主催者特別企画として「高齢者・障害者等の生活支援用品コーナー」を設け、公益財団法人共用品推進機構の企画・監修協力のもと、高齢者や障害者、その家族等の生活に役立つ工夫が施された生活支援用品を展示し、広めてきました。

初年度は展示コーナーを台所、水回り、トイレ、食堂、衣服などの分野に分けて製品の展示を実施、また近年では、2014年に「旅を楽しむ10のコツと便利なグッズ展」を、2015年には「いつまでも元気で働くコツ！」をテーマに就労・労働の実施・継続に活用できる用品を、そして2016年には「マイサイズ！あなたに合わせた（る）モノ展」として、衣食住の分類ごとにさまざまな福祉機器を展示し、役立つ工夫を紹介してきました。

今年は、過年度の展示内容の蓄積をもとに、これまでに展示した優れた視点で開発された用品をセミナー形式で総括し紹介するとともに、今後求められる用品開発の視点等について解説します。

○主な参加対象者：企業、行政、福祉関連団体

○講師：星川 安之 氏 公益財団法人 共用品推進機構 専務理事

14：00～15：30

【プログラムNo.6】介護ロボットの活用で未来を拓く **手話通訳あり** **要共通資料**

介護ロボットの開発・普及については、政府が掲げる日本再興戦略に基づき「介護分野におけるロボット新

戦略」が取りまとめられ、高齢者や障害者の自立支援、介護負担の軽減等にロボット技術を活用しようとする取り組みが、鋭意進められています。

一方、近未来の介護の場面で重要な役割を担うことが予想される介護ロボットであるが、その普及によって介護はどのように変化していくのか、また、円滑な定着やより効果的な活用のためにはどのような取り組みが必要なのかなどについては、介護ロボットが注目されはじめてからまだ間もないこともあり、理解が十分に進んでいるとはいえない側面もあります。

本講座では、さまざまな場面で活躍しはじめた介護ロボットの今後の可能性を探るとともに、克服すべき課題やめざすべき将来像について展望します。

○主な参加対象者：高齢者およびその家族

○講師：五島 清国 氏 公益財団法人 テクノエイド協会 企画部長

会議棟 1階 レセプションホールB

【プログラムNo.7】 はじめての福祉機器 選び方・使い方セミナー 手話通訳あり

「基本動作編」「住宅改修編」「自立支援編」の3編をさらに以下の10のテーマに分類し、3日間にわたりセミナーを開催します。

3日間のセミナーの概要は以下のとおりです(時間割、講師名などの詳細は、本会WEBよりご確認ください)。

《9月27日(水)・住宅改修編》

①トイレ・排泄用品 ②住宅改修 ③入浴機器

《9月28日(木)・基本動作編》

④ベッド ⑤リフト等移乗用品 ⑥杖・歩行器等補助用品 ⑦車いす

《9月29日(金)・自立支援編》

⑧福祉に役立つ一般製品 ⑨福祉車両 ⑩自助具

○主な参加対象者：高齢者、障害者及びその家族、新任介護職員、福祉機器企業関係者、学生など

○定員：200名(※自由参加、先着順にご案内いたします。)

※副読本として、「基本動作編」「住宅改修編」「自立支援編」の3種類を本セミナー会場にて販売しています。
1冊100円です。

東京ビッグサイト・東展示ホールで開催するセミナー

特設会場C(東6ホール内)

【プログラムNo.8】 高齢者むけの手軽な日々の食事

～総菜やレトルト食品をおいしくバランスアップ [高齢者の料理講座] 手話通訳あり

高齢者の一人暮らしや、高齢者夫婦世帯が増えています。こうした世帯では、長寿化が進むにつれて、毎日の食生活のために料理をつくることも、栄養バランスを考えて手間をかけることも、大変なことです。

そのため、日々の食事を市販のお弁当などで済ませる方も多くなっています。そこで、コンビニの弁当や

スーパーの総菜・レトルト食品などをもとにして、ひと工夫を加えることによって、毎日の食事を、簡単に、豊かに、かつ、栄養のバランスがとれる食事の作り方を実演をまじえてご紹介します。

テキストでは、レシピと食事づくりのポイントをわかりやすく説明しています。

○主な参加対象者：高齢者及びその家族、ホームヘルパー、在宅サービス事業者など

○講師：虎の門病院栄養部

○定員：90名（※自由参加、先着順にご案内します。）

*「高齢者の料理講座」の会場（東6ホール「特設会場 C」）では、本講座でご紹介した2016年までのレシピをまとめた2種類の冊子を一部700円で販売します。

H.C.R.2017 新製品の紹介/福祉機器ガイドブックより

朝日産業(株) ダンディユリナー ベッド上 装着式尿器【トイレ・おむつ用品】 価格：お問い合わせください

ベッド上で使用する臥位用集尿器。専用ガーターで固定する装着式。レシーバー挿入部分に逆流防止機構があり、漏れを防止します。尿タンクは2.8リットルです。

(株)アメディア 快速よむべえ YK-1000【日常生活支援用品】 価格：198,000円

～カメラで印刷物を読みとり、素早く文字を読み上げる音声拡大読書器～

主な用途として、郵便物の確認、パッケージ印刷内容の確認、拡大読書機として使用もできます。読み上げ音声のデータ保存機能や電子データ再生機能もあります。

安寿/アロン化成(株) 家具調トイレセレクト R 自動ラップノーマル/はねあげタイプ【トイレ・おむつ用品】 価格：138,240円～

手入れのしやすさ、利用者に合わせて選べる肘掛け、ワンタッチ跳ね上げ肘掛け機能付きの同製品に自動ラップ排泄処理ユニットが搭載されました。ワンタッチ操作で排泄物の密封が可能になっています。

(株)アートプラン 自立支援型移乗介助ロボット「愛移乗くんII」【移動機器】 価格：688,000円（非課税）

特別養護老人ホームから「腰が曲がらない、より重度な方も移乗動作ができる機器を」との要請を受け、おんぶの姿勢をとらずとも移乗操作が可能となる移乗機器を開発し、施設での利便性がアップされました。

(株)アイテック みまも郎 徘徊老人監視システム【コミュニケーション・見守り機器】 価格：お問い合わせください

月額無料、電池交換なし。徘徊をセンサーにより音で知らせ、また、外出先にもメールで連絡します。

アタム技研(株) 2枚型マットレス洗浄機 MR II-2130 SK【福祉施設環境設備・用品】 価格：お問い合わせください

ウレタンマットレス、ファイバーマットレスを組み合わせ自由に2枚同時、両面洗浄が可能な高稼働率マットレス洗浄機。尿臭、汚れを強力に除去し、マットレスの再使用を可能としました。脱水能力も優れ、乾燥時間を短縮できます。

アキレス(株) 見守りシステム SAN フラワー×ヘルシーライフ【コミュニケーション・見守り機器】 価格：207,036円

～認知症患者の徘徊を早期に検出、発見できる～

介護シューズ「ヘルシーライフ」に小型SANタグを装着。介護施設、個人宅等にGEOフェンスSANアンテナ

を設置し、見守り対象者の見守りエリア外への離脱を検出し、登録者へメール配信します。見守り側は小型SANレーダーで対象者の正確な位置を把握できます。

(株)アスティコ すたこらさんソフト晴55【衣類・着脱衣補助用品】 価格：6,264円

甲部まわりは伸縮性のある素材を採用し、履き心地抜群の靴。アーチサポート付きインソールは取り外しても履くことができます。クッション性に優れ、屈曲性も抜群なアウトソールを採用。大きめなマジックファスナーで足をしっかり包み込みます。

(株)アポワテック ポッチャボールセット・コネクト【日常生活支援用品】 価格：63,720円

東京パラリンピック正式種目のポッチャのセット。国際競技規格適合商品で、日本ポッチャ協会公認です。

(株)アマノ 移乗ストレッチャー【移動機器】 価格：お問い合わせください

同社製の寝浴シリーズのストレッチャーにドッキングして使用可。スライドシートを利用した移乗が安全・スムーズに行えます。

(株)アテックス 立ち上がり補助グリップ(低床用)【日常生活支援用品】 価格：14,580円

～布団からの起上がり等、どこでも置ける補助グリップ～

手をついて安全に起上がることができる補助グリップ。自立式なので布団からの起き上がりや玄関や座椅子の横等、幅広く活用可能です。

(株)イーストアイ セーフティーアームロータSPタイプ【移動機器】 価格：41,040円

～生活の中の歩く、運ぶ、休むをサポートする歩行車～

身体を支えながら多くの荷物を持ち運ぶことができる特大かご付き歩行車。特大かごに荷物を載せたまま、いつでも座面に腰かけ休憩することができます。

イズミ(株) Y35 ハイグリップ【日常生活支援用品】 価格：お問い合わせください

握りやすさがあるグリップ形状でありつつ、パイプの切断が可能。現場や利用者に合せた長さの手すりを取り付けることができます。

(株)イノアックコーポレーション ベッドサイドマットⅡ【ベッド用品】 価格：19,440円

ベッドの横に敷いて転落時の衝撃を吸収するマット。歩行時の邪魔になりにくい18mmの厚さです。端をテーパーにしているため、すり足でもつまづきにくく、柔らかすぎない素材で衝撃吸収性と歩きやすさを両立しました。

(株)ウチエ さわやかチェアPT セーフティロック【トイレ・おむつ用品】 価格：55,620円

～前傾姿勢、座位保持、立ち座り等排泄時の安心をサポート～

前傾姿勢がうまく取れない方、補助がないと座位が保てない方に、排泄時の前傾姿勢が安心して取れ排便しやすくなるうえ、セーフティの肘掛けはロック機能付き、移動用車輪付きな排泄支援用いすです。

(株)ウエルハーモニー ゼリーナ(ソフト、スタンダード、おかゆ用)【介護等食品・調理器具】 価格：お問い合わせください

ソフトは、主に脱水症状予防の水分補給用ゼリーとして使用可。スタンダードは、主に主食・副菜用のゼリーとして提供可能。おかゆ用は、べたつく熱いおかゆに混ぜてミキサーにかけるだけで使用できます。

(株)内田洋行 絆 介護情報タブレットシステム【在宅・施設サービス経営情報システム】 価格：お問い合わせください

～介護記録の登録、閲覧機能に特化したシステム～

介護現場でいつでもどこでも入力できるほか、介護記録情報の閲覧も自由に行えます。複数人の記録データの同

時入力や音声入力、カメラを使用した特記事項の入力等も可能です。

㈱エナジーフロント リフティ・ピーヴォ【移動機器】 価格：27,000円

～てこの原理を応用し80kgでも5kg以下となる移乗介助ベルト～

腕や腰の力でなく、体重移動を用いた移乗介護を実現。クッションとして常時使用し、起立介助や移乗介助の際に側面の持ち手を引くことで腰に負担がかかりません。生地は撥水処理されており汚れに強くなっています。

**NECソリューションイノベータ㈱ NEC言語トレーニング支援サービス【リハビリ・介護予防機器】
オープン価格**

～ことばを話すトレーニングをロボットがサポート～

ロボットのパペロが高齢者施設向けに言語トレーニングメニューを提供するものです。コミュニケーション能力の維持・向上を支援するもので、スタッフの負担が少なく利用可能で、すぐに始められます。

**㈱F. S. C 介護記録アプリ でらケア【在宅・施設サービス経営情報システム】 価格：1施設につき
10,000円/月**

～スタッフの情報共有をサポート～

介護施設と共同開発し、現場の声を活かした介護記録アプリ。スマートフォンやタブレットを使い慣れていないスタッフでも違和感なく使えるよう「チェック表」をベースに設計されました。

ASD㈱ まもる～のポケット【コミュニケーション・見守り機器】 価格：お問い合わせください

常設型のステーションに加え、手元でも状態が確認できる端末が登場しました。事務所から離れた場所や介助作業中でも利用者の状態が手元でわかります。音声認識作業記録・内線通話機能も内蔵されています。

㈱オフィス・ラボ ピタットチェア EX PT-17 EXNA【移動機器】 価格：42,984円

介護者のための介護いすで、回って止まって前後にスライドもできます。テーブルに軽い力でピタットと付けるので介護も楽にできます。持ち上げない、抱き上げない介護と利用者の自立促進へのサポートを目的に介護現場の意見から作成されました。

㈱オーシン ドリームエア-550【ベッド用品】 価格：48,600円

～洗えて通気性抜群な体圧分散高反発マットレス～

底付きしない高通気・高反発マットレスで、ムレにくく、寝返りがしやすさが特徴。立体構造編物20mm2層、ソフトエアラッセルカバー2層の4層構造です。厚さ約5cmで低床ベッドにもおすすめです。

*上記の製品は、H.C.R.2017福祉機器ガイドブックにお申込みいただいた新製品のなかから、基本として社名アイウエオ順に沿うかたちで紹介したものです（1社1点のみ紹介）。特段の選考によるものではありません。

※注1：内容や日程は予告なく変更する可能性がありますので、ご来場の際は最新情報をご確認ください。

※注2：各プログラムへの最新のご参加内容については、H.C.R. Web サイト(www.hcr.or.jp)で順次ご案内します。

H.C.R. 2017 事務局

一般財団法人 保健福祉広報協会

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5F

TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798 <https://www.hcr.or.jp>